

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/08/25 ～2017/08/31)

1. 勉学の状況

25日(金)にリンショーピンに到着し、土日を含んですぐに研究室が始まりました。到着してすぐだったので、あまり環境になれておらず大丈夫かと心配しながら研究室にいったのですが、先生達やラボメイトは暖かく迎え入れてくれて、とても助かっています。

ここでの自分の研究は、プラスチックレトロニクス用超薄型陽極アルミナコンデンサ膜の構築と解析で、今は一人の先生と共に基礎的なことから学んでいます。9月下旬には中間発表もあるので、一日でも早く慣れてしっかりと実験できるように頑張っています。

研究機関においても設備がかなり整っており、かなり広いスペースに実験装置が数多くおいてあり感動しました。また、研究室の休憩スペースも素晴らしく、フルーツ食べ放題であったり、コーヒーマーカーがあるので、休憩時にはよくここでディスカッションするなどして英語スキルの向上を目指しています。

2. 生活の状況

自分は大学の寮に住んでいます。寮の中でも Corridor(廊下)と呼ばれるスペースで区切られており、1Corridor に大体9人が所属しています。自分の Corridor では毎週月曜夜に Fika と呼ばれるお茶会が開催されます。このお茶会では担当の順番がローテーションで回ってきて、その担当になるとその時のおやつなどを準備する役が与えられます。先週は香港人の留学生の順番だったので、香港のおやつを食べたのですが、羊羹などが出てきて日本と似ていてとても驚きました。

また、この寮は Ryd と呼ばれる居住区域にあるのですが、ここには多くの学生がいるので、他の Corridor でパーティーがあれば参加したり、近くのサッカー場で試合があれば観戦しに行ったりと交流を深めています。

まだ上手く英語で話すことが難しい状況ですが、頑張って伝えようとすると、みんなしっかりと待っていて聞いてくれるのですごく助かります。なので、より多く英語を使って早く英語をマスターし、皆を笑わせることのできるジョークが言えるくらいに頑張り多と思います。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/09/01 ～2017/09/30)

1. 勉学の状況

1ヶ月が経ち、日本の研究室との違いにも慣れてきました。しかし、まだ研究内容や世界情勢など難しい話が飛び交うと、あまりスムーズにコミュニケーションを取ることが難しい状況です。これらの話は知らない単語が多く、そこから話に置いて行かれがちなので、基本会話は絶対に置いて行かれない、または基本会話から分からなかった部分のヒントを得るなど、なるべくついていけるように努力しています。

こちらでは、フレキシブルデバイスやプリンテッド・エレクトロニクスのための超薄型トンネルダイオードの研究をしています。説明すると長くなるので省きますが、早速今月ポーランドのワルシャワに行って、ワルシャワ工科大学と合同勉強会を行ってきました。自分は聞いているだけだったのですが、聞くにしても全て英語で、また専門用語が飛び交うため、半分以上理解できず、自分の力不足を痛感しました。ですが発表のスライドなどを見て、自分と似ている研究でも考え方が違ったり、また新しい研究を知ることが出来たり、とてもいい経験になりました。この経験を生かしていきたいと切に思います。

2. 生活の状況

9月に入り急に空気が冷たくなりました。今月はほぼ天気が悪く、一日中晴れだった日が十日くらいしかなかったので、ずっと肌寒かったです。今月は僕の大好きなお酒について気づいたことがあるので書こうと思います。

まず、日本の居酒屋が恋しいです。時々こちらのそのようなお店に行くのですが、日本と違って基本的に料理は各自1プレートずつ頼み、それを食べます。また、周りはとてもがやがやして、割と大きな声で話さないといけないので、同様に聞き取ることがとても難しいです。また、スウェーデンのスーパーでは低度数(3.5%以下)のお酒しか売っていないため、“Systembolaget”という国営の酒屋さんに行かないとおいしいお酒が飲めないのもとても不便です。

こちらでは、少しお酒を飲むことに関して不便ですが、ヨーロッパのおいしいお酒が飲めるため幸せです。これを息抜きに毎日頑張っていこうと思います。



ワルシャワの人魚像



Systembolaget

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/10/01 ～2017/10/31)

1. 勉学の状況

今月は研究室に通いながら週一で取っているスウェーデン語の授業について紹介します。

まず、こちらの授業は途中 15 分の FIKA タイムを挟んだ、2 時間 45 分のとても長い授業です。先生は変わらないのですが、日本と違って毎週教室が変更されるのでネットで確認しなくてはなりません。自分のクラスは学生数が 10 人ほどの小さなクラスなので、とても質問がしやすく、より濃い授業を受けることができます。特に周りの学生は、日本と比べると頻繁に質問をして、皆とても意識が高いです。

また、スウェーデン語は単語や文法が英語と似ているところがあり、文章を見れば推測できることもあるのですが、なにせ発音がとても難しいです。一緒に受けている学生はヨーロッパの方が多く、ドイツ語はより似ていて、すぐに発音もマスターしてしまうため置いて行かれないよう必死に先生の発音を聞いたり、日本語で近い発音を書いたりして、家での復習が欠かせません。また、基本的に授業の進行スピードも速いのでとても大変です。ですが、英語で授業を受けるのととても英語の上達にも繋がっていると思います。

2. 生活の状況

ハロウィンパーティーをしました。といっても、「Trick or Treat」とは一言も言っていないのですが、研究室の友人の家で研究室のメンバーとお酒を飲んだりおやつを食べたり話したりしてとても楽しかったです。皆ハロウィンパーティーをほぼ毎年するらしく、衣装もかなり凝った物を持っていて、自分も凝った衣装を揃えれば良かったなと後悔しました。そして部屋の仮装もとても素晴らしく、一見お化け屋敷かという手の込み具合で、日本では感じられないであろうハロウィンを感じてとても満足できました。

また、大学内でもハロウィン仕様になっており、階段は蜘蛛の糸で張り巡らされたような装飾、そして所々人形の首などがつるされていて、注意して歩いていないと簡単に寿命が縮まってしまいます。

この時期では大学内でもそうですが、街中で時々ばっちり仮装を決めている人を見たりするので、日本と違う文化が凄く実感できて嬉しかったです。

今後も日本とは異なる文化や楽しみを発見して、エンジョイしていきたいと思います。



大学内の装飾の様子

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/11/01 ～2017/11/30)

1. 勉学の状況

スウェーデンに来て3ヶ月が経ち、研究室にも大分慣れることができました。自分は研究室で修士論文を書くコースとスウェーデン語の授業だけを取っているため、月曜午前中以外は毎日研究室で実験やディスカッションを行っています。

ここでの研究はトンネル効果を利用したトンネル型ダイオードの研究を行っています。主に銀を用いて、一部を酸化することで酸化銀を作り出しそれをバリアとして、銀同士あるいは銀と金などのことなる金属を用いて約 100 ナノメートルほどのとても薄いダイオードを作り、フレキシブルディスプレイなどへの応用を目指しています。

日本の研究室と比べて気づくことは、学部生はおらず圧倒的に修士よりも上の学位の生徒が多いことです。日本と比べるとスウェーデンでは金銭面や学位取得後などの待遇がとても手厚いことが要因と考えられます。そのため彼らは研究に対する姿勢がとても素晴らしく、自分にとっても刺激的な経験となっています。また、日本では修了後はどこかの企業に就職するものだと思っておりましたが、将来的にスウェーデンや他の国などに渡って研究を続けることも選択肢に加えることができました。とても良い経験ができていると思います。

もちろん、スウェーデン語の授業の方もおろそかにはしておらず、来月頭に大きな筆記テストがあるのでしっかり研究室とも両立させて頑張っていきたいと思っています。

2. 生活の状況

雪も降り始め、気温が大分低くなってきました。気温は暖かい日で最高気温 5℃寒い日は最高気温でも 0℃や 1℃といった具合で、0℃を下回る気温の時も多くあります。それでも日本と比べると、室内の防寒はとても素晴らしく、また外に出てもそこまで寒く感じないので、これからも生きていけそうな気がします。

さて、今月は Linköping から Norrköping(ノーショーピン)に引っ越しをしました。自分が Norrköping の研究室に所属しているためです。もちろん Linköping のキャンパスから Norrköping まで、大学の無料キャンパスは出ているので、授業が異なったキャンパスである先生や生徒は利用していて自分もそれで通えるのですが、このバスは平日しか運行しておらず、また最終のバスの時間が 18 時半と早いため、より研究に時間をさけるように引っ越ししました。

そして、この Norrköping の住宅は大学から提供されたフラットルームというもので、部屋は別々、キッチン・バスルーム共有で他二人の学生と共用しています。また、自分の住居はキャンパスまで徒歩 15 分、Norrköping の中心街まで徒歩 3 分と近く、すごく生活がしやすいです。

Norrköping にこれまで住んでいた留学生は少ないと思うので、この街での生活を多く載せることができれば良いなと思っています。また、この場所では留学生の友達が多くいた Linköping と比べると完全に日本人の知り合いがゼロなので寂しくなりそうですが、とてもいい機会だと思って頑張っていこうと思います。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/12/01 ～2017/12/31)

1. 勉学の状況

今月はスウェーデン語の授業のテストを受けました。スウェーデン語のテストは、筆記だけでなく、オーラルのテストも別日にあり、それぞれの対策をしなければなりません。特にオーラルのテストなどは、日本ではあまり受けたことがなく慣れておらず、また先生1人に対して生徒3人と同時に受け、ドイツの生徒など比較的言語の似ている人たちと受けるので、負けないように練習が大変でした。仲の良いスウェーデン人の友人に発音を聞いてもらったり、質問したりしてテストを受けたのですがやはり難しかったです。そのテストの成績は大学のポータルサイトに出るので、確認するまでドキドキです。また単位の取得の仕方も日本とは違い7.5credits(単位)中、授業中の小テストや出席、筆記、オーラルと3分割されていて、どれかは落ととしてもその内5creditsは取得できるといったように0か100ではないそうなので、教育の違いも感じ良いなと思いました。今度ドキドキしながら学生ポータルを開いてみようと思います。

2. 生活の状況

12月に入り研究室でクリスマスパーティーをしました。家庭を持っている方は、お子さんと奥さんと共にきて、大体100人以上の人が参加していたと思います。また、料理はそれぞれが一品ずつ作って持ち寄る形式で、自分は寿司を持参しました。Linköpingに大きなアジアマーケットがあるのでそこで材料を調達し作りましたが、ウケはかなり良かったと思います。また、様々な国籍の方々が研究室には所属しているので、色々な国の料理を楽しむことが出来て良かったです。またクリスマスパーティーの途中には様々なイベントがあり、自分はサンタ・ルシアの曲を歌いながらみんなで入場しました。クリスマスプレゼントも誰から貰ったのか分からない、シークレットサンタという企画にも参加しとても楽しみました。このイベントが終わり、本当のクリスマスに近くなると皆母国に帰り、年明けまで家族と過ごしたり、旅行をしたりするそうなので少し寂しいです。でもそれも含めて、ここでの日本とは違ったクリスマスや年末の過ごし方などを感じることが出来て、とても楽しんでます。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/01/01 ～2017/01/31)

1. 勉学の状況

研究室は 3 日から行きました。こちらには三が日という文化はないので、研究熱心な方はすでに研究や実験を始めていますし、母国で家族と過ごしている方はゆっくりと過ごして帰ってきていました。

主に今月はいろいろと締め切りに追われる一ヶ月でした。というのも、自分は学部 4 年なので 2 月に卒論発表会があり、そこに向けての準備があったからです。それに加えてスウェーデンでは、今までの実験結果をまとめて発表することにもなって、2 種類の研究をまとめなくてはならず、とても忙しかったです。今(これを書いている時は)、こちらでの発表は終わったのですが、英語でプレゼンテーションすることは、日本語ですることよりもまた数段難しく、発表原稿からなかなか目が離せず、まだまだだなと思いました。先生や発表を聞いた仲間は素晴らしかったと言ってくれたのですが、自分の中でもう少しできるという悔しさもあったので、これからより頑張っていこうと思いました。

2. 生活の状況

2018 年になりましたね。あけましておめでとうございます。

年末年始は、母と妹が来てストックホルムで観光するなどして過ごしました。年が変わるときは花火が打ちあがって、日本の除夜の鐘とは違った雰囲気を楽しめてとてもよかったです。5 日間共に過ごしたのでストックホルムの観光地をほぼ周ることが出来ました。年末年始でも閉まる時間は少し早まったりするところがありますが、有名どころは大体 31 日と 1 日以外は空いていたので良かったです。スーパーも空いていたので驚きました。

ストックホルムの観光地で自分のお勧めは世界初の野外博物館であるスカンセンです。ここでは、まさにクリスマスの仕事終わり?のトナカイを始め、北欧の動物を見れたのでとてもテンションが上がりました！有名なヴァーサ号博物館のすぐ近くにあるので、ぜひどちらも行ってみてください！



スカンセン野外博物館

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/02/01 ～2017/02/28)

1. 勉学の状況

今月は日本に一時帰国して卒論発表を行いました。これはあまりないケースだとは思っていますが、自分は学部4年生で自分の人生設計の中で出来ることならば留年したくないという思いがあり、留学前からリンショーピン大学で卒業研究に相当できるような研究をさせてもらえるような場所を探していました。

日本での卒論発表のために、日本の研究室の先生ともテレビ電話を通じて練習したり、アドバイスをもらったりと、卒論発表前はとても忙しくしていたのですが、その甲斐もあって発表も上手く行き、無事に足踏みすることなく大学院へと進むことができそうです！

この経験は僕が知っている中ではやっている先輩方はおらず、手探りの状況ばかりでとても大変でしたが、自分の中にある考えを貫き通したいという思いから頑張れました。このようなケースでなくても、自分の頑張りと手続き次第では、よりフレキシブルにより自分に合った留学生活を生み出すことができるのではないのでしょうか。

2. 生活の状況

今月は日本にいた時間の方が長かったので、スウェーデン生活についてあまり多くの気づきは無かったのですが、スウェーデンでのコーヒーの文化について書きたいと思います。

まずスウェーデンではとてもコーヒーが重要な役割を果たしています。街中には日本のコンビニと同じくらい喫茶店があります。そもそもスウェーデンにはFIKAというコーヒーブレイクを取る時間があります。(FIKAはカフェのカとフェが逆になって生まれた言葉とスウェーデン語の先生が言っていました。)研究室のFIKAでは皆でコーヒーとケーキを食べながら、研究の進展だったり世間話だったりをします。スウェーデン語の授業間にもFIKAがあり、そこでは授業の質問をしたり、住んでいたCorridorのFIKAでは共有スペースの使い方の話をしたりするなど、スウェーデンではコーヒーはコミュニケーションの大切な一部になっています。

コンビニでもコーヒーを買うとKanellbulle(カネルブッレ)といったスウェーデンの伝統的なシナモンロールをととても安く買えます。これがとてもコーヒーにマッチしてとても美味しいのでよく買っています。

今後もこのFIKA文化を使って多くのコミュニケーションを取っていきたいと思います。



コンビニで購入できる、
コーヒーとカネルブッレのセット

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/03/01 ～2017/03/31)

1. 勉学の状況

千葉大学での卒論発表も終わり、こちらの研究を再開しました。今月は、このプロジェクトワークの目標である論文作成の締め切りが4月に迫っているということもあり、土日祝日などもほぼ研究室に通い実験を行っていました。

自分のやっているダイオードの研究は、ダイオード作製までにほぼ丸一日、そこからやっと測定が出来ます。このダイオードは数nmととても薄いことなどもあり、とてもデリケートで、せっかく一日かけて作っても上手く動かないということが頻繁に起きます。特に今月は、上手く動かないことが多発し、心が折れそうになりました。やるべきことや、欲しいデータは明確に見えているのに、そこにたどり着けず、ただひたすらに実験を行っていました。途中で、このままではだめだと自分なりに状況をしっかり整理してみたり、先生と直接実験手順について話し合ってみたりして、最終的にはなんとか改善できそうです。先生と話し合ってみて、こちらに来て約8ヶ月、最初は全くと言って良いほど上手くディスカッション出来ていなかった自分が、まだわからない部分もありますが、なんとかディスカッションと言えるレベルで話し合えているなど、ふと成長を感じました。残り少ないですが、なんとかもう少し成長して帰りたいと思います。

2. 生活の状況

3月に入り気温も徐々に上がり、春の訪れを感じています。また、下旬にはサマータイムが始まったこともあり、19時半までは明るく北欧ならではの生活リズムを楽しんでいます。

今月末にはイースター休暇がありました。日本では中々感じる事のないイースターですが、こちらの研究室の同僚や友人は皆母国に帰省してしまい、それといった大きなイースターのイベントなどは無かったので、卵型のデコレーションを飾っている街中を見たり、卵型のチョコレートを食べたりと、地味にイースターを感じていました。

そんな僕もイースター期間に一つだけ個人的にとっても興奮したイベントがありました。それは、スウェーデンのサッカーリーグ(Allsvenskan-アルスヴェンスカン)の開幕です！もちろん応援するチームはIFK Norrköping、ノーショーピンのサッカーチームです。リンショーピンは女子サッカーチームがとても強豪で人気ですが、ノーショーピンでは男子チームが歴史もあり、2015年には優勝するなど強くとても人気です。

当日スタジアムに行くと、この街のどこにこんなに人がいたのかというくらい大人数のサポーターがおり、とてもびっくりしました。試合は2-1でIFK Norrköpingが勝利しました。個人的には、欧州に来て地元のサッカーチームを応援するという一つの小さな夢が叶った瞬間でもあり、とても嬉しかったです。また、スウェーデンリーグは他の欧州リーグと違い、冬は寒さが激しく行われておらず、春開幕となっております。このサッカーの開幕と共にスウェーデンの人々は春の訪れを感じているのではないのでしょうか。スタジアムはノーショーピンキャンパスから徒歩10分程の距離にあるので、ぜひタイミングが合えば行ってみてください。